

# みと 美都



5年生 野外活動の準備が進められています

御津南部小学校  
校長室だより  
令和5年6月12日  
No.9

## もうすぐ待ちに待ったプール開き

梅雨に入り、プール気分が少しそがれてしまいましたが、雨の合間に、暑い日ざしが照りつけ、プール開きが待ち遠しくなってきました。春の運動会、スポーツテストの後は、やっぱりプールですね。

5月のGW明けから、高学年を中心にプール掃除が行われ、プールが驚くほどきれいになりました。16日(金)の、プール開きに備えて、きれいになったプールには、水がたまり始めています。にぎやかな歓声が、今年もプールから聞こえてきそうです。

ところで、御津南部小学校のプールはいつできたのでしょうか。玄関の写真を見ますと、御津南部小学校のプールの完成は昭和45年と書いてあります。それまでは、どこで水泳の授業をしていたのでしょうかね。



## 読み聞かせとあじさい読書週間

6月7日(水)、ボランティアの方たちによる「絵本の読み聞かせ」が行われました。「あじさい読書週間」に合わせ、今回は、低学年の教室を中心に、読み聞かせをしてくださいました。学年に合わせて本を選んでくださるので、子どもたちも楽しみにしているようです。ボランティアのみなさん、ありがとうございます。

校長先生も教室を回ってお話を聞きました。子どもたちは、思わず声を出したり、笑ったり、表情豊かにお話を聞いていました。お話の内容にひきこまれ、夢中になって聞いている子もいました。

絵本の読み聞かせの効果は、3つあると考えます。1つは、感情が豊かになること。出てくる登場人物の気持ちの変化や行動を理解して人の気持ちに寄り添うことができるようになります。2つめは、想像力が育まれること。生活の中で、目標を立てたり、色々な状況を判断できるようになったり、また、すてきな発想を生活に活かすことができようにもなったりします。3つめは、言語力が身につけられること。言葉にふれるので、言語力が身につく、自分が思っていることを上手く伝えられるようになります。

これからも、月に1回程度、絵本の読み聞かせがあります。来月は、7月5日(水)の8時25分からです。





# 走った投げた跳んだスポーツテスト

6月5日(月)・6日(火)・7日(水)に、低学年、中学年、高学年にわかれて、スポーツテストが行われました。子どもたちは、50m走や立ち幅跳び、ソフトボール投げ等の種目に、力いっぱい、自分のもてる力を発揮しました。

コロナ禍やゲームやスマホなどの発達で、子どもたちの運動不足、運動能力の低下が心配されています。でも、みとなんの子たちは、外で元気よく遊ぶので、体力の低下は心配ないと信じています。



## ペアでいものつるさし1・6年

小学校から少し歩いた梨野ガードの近くにある畑で、1・6年生がさつまいもを育てます。畑の持ち主である中西様や、おやじの会の方々が、土の手入れや畝づくりをしていただきました。本当にありがとうございます。

今年も、6月5日(火)に、いものつるさしを行いました。6年生が「わかる?」「大丈夫?」と声をかけながら、顔を見て、ていねいに教えていました。去年は、収穫した芋でふかし芋を作りました。今年も、収穫を楽しみにしています。大雨が心配ですが、太陽の光を浴びて、大きく育ててほしいです。



## 給食の残菜を減らそう～給食委員会の取組～

給食委員会では、残食を減らそうと「残食モンスターを退治(たいじ)しよう」を実施しています。残食については、「子どもたちの給食の食べ残しが気になる」という声を時々聞きます。食品ロスはSDGsの目標のひとつにも取り上げられており、学校給食における食品ロスの現状は深刻と言われています。給食委員会では、南部小の残食を少しでも減らそうとこの取組を企画しました。

給食にきれいなものがあって食べられないという子も、中にはいますが、自分の食べられる量を決めて、挑戦することは大事なことだと思います。子どもたちが苦手な食べ物を食べられるようになるには、2つポイントがあると聞いたことがあります。1つめは自信を高めること。苦手なものを食べたという成功体験で得た自信を積み重ねると、きれいな食べ物が減っていくそうです。2つめは残さずに食べると自分にとって「いいこと」があると知ることです。例えば、体が大きくなる、風邪をひかなくなる、作ってくれた人が喜んでくれるなどのいいことを子どもたちが理解することです。この機会に、残食が減り、給食を残さず食べられる子が増えることを願っています。

